

充てん設備・LPガス取り扱い時におけるリスクアセスメントの実践

『危険の源を特定し、潜むリスクを評価し、優先順位を決めて対策を定めます。』

【リスクアセスメントの流れ】

製造設備等に潜む
リスクを洗い出す

許容範囲を
評価する

優先順位
を定め
対策実施



【リスクアセスメント実施前の準備】

基本作業手順が遵守できない場合の「リスク」を予測する。

作業工程に潜む危険性、運転範囲を超えた場合に予測されることを分析する。

自社の設備やLPガス取り扱い時に起こりうる危険や事故とそのシナリオを考える。

ヒヤリハット・KYTで挙げられた、「作業」「場所」「設備」の危険を顕在化する。

【リスクアセスメントの実践】

▶作業マニュアル・手順書を使い、誤操作・誤作動による危険性はないか調査します。

▶日次・月次・年次設備点検書の結果をもとに、気温や経年劣化によるリスクを確認します。

▶保安研修（ヒヤリハット・危険予知訓練KYT）の報告書を参考に、危険性を評価します。

▶事故・災害の情報（過去に起きた自社・他社の事故事例）により、事故の再発を防止します。

発生の可能性は？
発生する頻度は？

危険要因
に対する
リスクの算定

危険性の程度は？
影響の大きさは？